

こんな研修やっています



今年度の福井市地区社協連絡協議会では、上半期に多くの研修を開催しました。今回は、その一部を紹介します。

食事サービス事業に関わる役員、ボランティアの方に

第1回地域福祉リーダー研修会

平成29年5月26日

市内49地区社協では、ひとり暮らしの高齢者を対象とした食事サービス事業（配食・会食）を行い、笑顔でお弁当を届けながら、高齢者を見守っています。今回は、食事サービス事業を安全に実施するため、食中毒への対策や高齢者に喜ばれるお弁当作りのコツについて学びました。

参加者からは「毎年この研修があることで、食中毒対策の大切さを再認識できる」「加齢による味覚の変化に合わせた味付けを実践していきたい」といった声が聞かれました。



自治会型デイホーム事業に関わる協力ボランティアの方に

第2回地域福祉リーダー研修会

平成29年6月5日
6月12日

デイホーム中の予期せぬ事故やケガに備えるため、地区社協役員、協力ボランティア、そしてデイホーム専任職員が心肺蘇生法、AED（自動体外式除細動器）の使用方法などを学びました。

参加者からは「実際には起こって欲しくない事ですが、学んでおく事はとても大切だと思った」「人工呼吸はテレビで見てはいたが、やってみると意外と難しい」といった声が聞かれました。



地区ごとに開催する研修

民生委員と
福祉委員の方に

民生委員・福祉委員合同研修会

地域支え合いマップ

住宅地図に要支援者宅や支援者宅、避難場所等を書き込み可視化しながら、見守り方法を話し合います。



民生委員と福祉委員等が、民生委員の担当エリアごとにグループをつくり、エリア内の要支援者について情報交換や見守り方法を話し合います。

民生委員・福祉委員情報交換

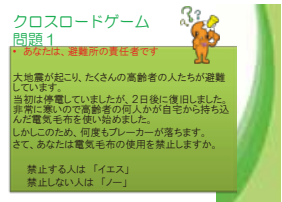
助け合い体験ゲーム

カードゲームを通して、助ける側、助けられる側の両方を体験し、ご近所や仲間たちの助け合いの大切さ、助けてほしいと声を出すことの難しさについて学びます。



防災講座

災害時に備え、避難行動要支援者の対応に必要な知識・方法・技術などを学びます。



その他、認知症に関して学ぶ認知症サポーター養成講座やご近所力（ご近所での助け合いの力）をチェックシートで確認し合う研修など、各地区の状況に応じた研修を開催しています。



福祉委員に向けた研修

新任の福祉委員
の方に

新任福祉委員研修会

平成29年4月8日

今年度は改選の年ではありませんが、途中交替された新任福祉委員を対象に研修会を開催し、福祉委員の役割や避難行動要支援制度について学んでもらいました。現在福祉委員として活躍中の松本地区須藤さん、日之出地区竹中さんからは、活動のきっかけや内容、嬉しかったこと、気づいたことのほか、実践を通して得たことを発表していただきました。



福祉委員の方に

福祉委員スキルアップ研修会 （見守り活動に関する研修会）

平成29年7月1日
7月13日
7月20日

「楽しみながらかわる支援のあり方」と題して、福井県立大学准教授吉弘淳一先生が、尾木ママ風の喋りと話術で、ご指導くださいました（同内容で3回開催）。隣席の人とのコミュニケーションや演習、エゴグラムなど、参加型の楽しい研修で、笑顔の中、あっという間の2時間半が過ぎました。参加者は、自分自身を見つめ直すきっかけにもなったのではないのでしょうか。



地区社協に関わる人に向けた研修

地区社協会計
担当者の方に

地区社協会計手順の説明会

平成29年5月11日

地区社協事業の財源は、地域住民からの会費や共同募金、補助金などで賄われ、その会計業務を担うのが、地区社協会計担当者の方です。説明会では、予算、決算の作成をはじめ、会計書類や経理帳票の記入方法、源泉徴収の手続き方法などのレクチャーを受けました。会計の透明性を高め、信頼を確保するため、熱心に学ぶ姿勢がみられました。



新任地区社協
会長の方に

新任地区社協会長情報交換会

平成29年7月7日

今年または昨年、新たに地区社協会長に就任された方を中心に情報交換会を開催しました。初めに地区社協のイロハを学び、その後は小グループに分かれて、日ごろ、地区社協活動をすすめる上で、困っていることや悩み等を情報交換し合いました。

会長同士で疑問をぶつけあい、課題を共有し、共感しあう…そんな時間になりました。

